

## ご使用になるとき



### 警告



**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する**  
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。  
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

**ドライブレコーダー本体の温度を確認してから、  
角度調整やmicroSDメモリーカードの抜き差しをする**  
高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。



**運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない**  
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。  
交通事故の原因となります。

**故障や異常な状態のまま使用しない**  
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

**カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない**  
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**機器内部に、水や異物を入れない**  
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。  
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



### 注意



**本機を車載用以外には、使用しない**  
発煙や発火、感電、けがの原因となります。  
**落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない**  
故障や火災の原因となります。

## ドライブレコーダーについて

- 本機のみでは使用できません。  
必ず本機にmicroSDメモリーカードを挿入し、ナビゲーションに接続してからご使用ください。
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 車のエンジンをかけた直後（ACC ON）やエンジンを切った直後（ACC OFF）は、本機が動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 推奨動作温度（-10℃～+60℃）の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露で本機のレンズがくもる場合があります。
- 本機のレンズを手で触らないでください。

## 電源について

- 本機は電源ボタンがありません。エンジンをかけると自動で電源が入ります。
- 「駐車録画」(P.11)が「する」に設定されている場合、本機は車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。

## 著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。  
個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

## 免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の駐車録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- 次の場合、補償はできません。
  - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
  - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDメモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

本機の操作は、接続したナビゲーションから行います。

- 本書では、パナソニック カーナビステーション CN-F1XDと接続した場合を例に説明しています。
- タッチキー（タッチパネル上のタッチ操作のボタン）とハードキー（ナビゲーション本体/ディスプレイユニットなどのボタン）を、下記のように描き分けています。

例) **ドライブレコーダー** : タッチキー

**AUDIO** **MENU** **MAP** : ハードキー